

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社 エアステス		
事業所名	グループホーム Myほ〜む童里夢		
所在地	札幌市西区西野2条1丁目2番1号		
自己評価作成日	平成29年12月22日	評価結果市町村受理日	平成30年2月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigvosvoCd=0170400865-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	平成30年1月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念を目標とした心のこもったケアを日々行いながら、入居者様との毎日の生活を大切に、自然に笑顔や会話が出るような関わりをしています。筋力低下防止や転倒予防の為、ラジオ体操等行いながらADLの維持の為出来ることは行って頂ける様に日々声掛けや介助にも配慮しております。レクリエーションはその時々季節を感じられるようなものを取り入れながら、懐かしさや思い出になるような内容を企画して楽しんで頂いています。外出はなかなかADLの低下により入居者様全員では難しくなっていますが、出来る範囲で外出を心掛けています。民生委員の方が毎年夏に蛍を虫かごに持って来て頂き、夜に電気を消して観賞されるなど楽しんでいます。ご家族様には安心して頂けるように体調の変化・外出の際にはお知らせしています。ご家族様との会話により一層入居者様の生活を知る事が出来、グループホームでの生活がより良いものとなるように努めています。少しでも居心地のよい温かいホームであるよう「自分の親だったら」と考えながら介護をさせて頂いていきたいです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、西区の閑静な住宅街にあり、木造2階建ての1階部分、1ユニットのホームで、高齢者住宅が併設されている。ホームの傍を琴似発寒川が流れており、川沿いに植えられた桜や梅はホームの居間から眺められ、利用者は、川のせせらぎ、四季の移ろいを身近に感じて穏やかな日々を送っている。天気の良い日の散歩で地域の人と挨拶を交わし、豆まき・バレンタインデー・節句・ハロウィン・クリスマスなど四季折々の行事や花見・ラベンダー・紅葉狩りなどの外出行事を楽しんでいる。毎日の食事は、栄養士による栄養バランスのとれた献立に利用者の好みを反映させており、誕生会などの行事には利用者の好きなものが提供されている。健康面では、協力医療機関の2週間に一度の訪問診療、週1回の訪問看護師の健康管理を受けている。毎日のラジオ体操、職員の手引きによる廊下での歩行運動、食事の準備や後片付けで持てる力を発揮し、筋力低下や転倒防止に努めている。ホーム内は、平均介護度4近くとなり、高い介護度の利用者が多いにも拘らず生き生きと活気にあふれている。24時間の医師・看護師との連携体制のもとにこれまで幾人もの看取りを行っており、終の棲家としても、本人・家族の安心に繋がっている。利用者の平穏な生活を支えている職員は、研修会や勉強会で知識・技能を磨き、理念に謳う「明るい笑顔と活気あふれる生活」の実現を目指し日々研鑽に努めている。これからも大いに期待したい事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1〜55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場合グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日ごろより地域のつながりを密にする為に職員間で話し合いを行い、地域の方とコミュニケーションをとっております。理念や組織については内部研修を通して行っております。	理念に謳う“明るい笑顔と活気あふれる生活”を目につきやすい場所に掲示するとともに、新人には採用時の研修で周知を図っている。職員は、理念に沿って年間の個人ごとの目標を立て、理念に沿ったケアとなるよう実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事に参加しながら交流を深めております。又運営推進会議に参加して頂き、グループホームへの理解や協力を得られるように努めております。	利用者は清掃作業や盆踊りなどの行事に参加するとともに、新年会・総会には職員が出席して交流を深めている。散歩で道行く人と挨拶を交わし、ホームの見学者を心よく受け入れ、地域の人の理解に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や行事の際に入居者様の状況を説明しつつ認知症の人への理解や支援の方法についてお話をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回利用者様の状況報告、サービスの状況。また評価への取組状況について報告し、改善すべき点は話し合いを行い、サービスへの向上に努めております。	毎回数人の利用者・家族、地域包括センター、町内分会長、民生委員が出席し、活発な意見交換を行うとともに、地域の人々が並を持参して観賞会を催すなど、サービスの向上に役立っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の研修や西区の管理者会議などを通じて市や区の職員と連携を図っております。疑問に思ったことは市に直接担当職員に伺って解決しております。	市や区の管理者会議、研修・指導に積極的に出席し情報収集に努めるほか、直接出向いたり、電話で相談するなど協力関係を築き、運営やサービスの向上に役立っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないよう全職員が理解しケアを行っております。内部・外部研修を通して全職員に周知・情報の共有を行っております。表玄関は併設の有料老人ホームと共有、また防犯上の為電子錠になっております。	身体拘束防止マニュアルを整備し、外部研修の参加や内部の勉強会を行い、禁止の具体的な行為や弊害についての理解を深め、身体拘束のないケアに取り組んでいる。また、言葉による抑制についても注意を払っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員、内部・外部研修に参加して学び、運営推進会議で包括センター職員・民生委員、地域の方々と話し合いを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が理解するように内部・外部研修を行い、報告をして情報の共有を図っております。資料も常に見られるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には契約内容、重要事項について十分な説明を行い理解、納得して頂いてから契約を行っております。		
紙4 6		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やご家族様の面会時等に意見や要望を伺っております。その際に答えられるよう職員間で話し合いながらサービスに反映させて頂いています。	日頃から利用者や家族からの意見の把握に努めるとともに、運営推進会議には毎回数名の利用者・家族が出席しており、意見や苦情を表せる機会となっている。家族からの口頭による意見や要望など連絡ノートに記載し運営に反映するよう努めている。家族には、毎月お便りで利用者の状況を知らせている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1度カンファレンスとミーティングを開き、運営内容に関する話し合いや入居者様の状況を検討し、情報を共有して職員の意見や提案を聞く機会を設けております。他、日々の中でなにかあれば都度話し合いを行っております。	毎月の会議では職員が意見を述べやすい雰囲気づくりを心掛け、日々の会話の中からも職員の意見や提案を汲み取り運営に反映するよう努めている。また、年1回の個人面談を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の勤務状況を把握し、コミュニケーションをとり、報告・連絡・相談がしやすい職場環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表は外部研修への参加を促し、参加報告を他職員にも伝えることで職員全体のスキルアップに繋げております。また定期的に内部研修を開き介護の知識等を深めるような場を作っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議への参加、他グループホームとの合同の行事に参加することで、交流する機会を持ちサービスの質の向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	入居時は早くグループホームに慣れて頂く為に、職員より積極的にコミュニケーションをとりながら、ご本人らしい生活が出来るように努め信頼関係を築いております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様やご家族様と話し合いを十分に行い、意見や要望を聞き入れて良好な関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族様と話し合いを十分に行いながら、ご本人様が生活する上での問題点を考えケアプランを立てて支援しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を家族と想い、入居者様の気持ちや考えを大切に共に過ごしております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の要望や状況を把握し、ご家族様に報告して情報を共有することで共に入居者様を支援していくように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人の方がお気軽に面会できるように対応しております。その際には必ず身元の確認をさせて頂いております。	家族・親戚・友人の来訪も多く、来訪時には居室でゆっくり寛げるよう心配りを行っている。また、来訪時には、一緒に食事ができるよう食事の提供、宿泊も可能としている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションを行い、入居者様同士が楽しく関わり合いをもち過ごせるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続してよい関係を築けるように付き合い等を行って頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日ごろの会話や行動から思いを汲み取り、職員間で情報を共有しております。困難な希望や思いはご家族様にも相談して出来る限り希望に添えるように支援を行っております。	日頃の利用者との会話や家族から本人の意向を汲み取り、個人ファイルに書き留め、希望や思いをケアに反映するよう努めている。また、本人の状況・希望等のアセスメント情報は、定期的に更新している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様やご家族様より入居前の生活について十分なアセスメント等を行い、それに添えるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日ごろの生活の中で一人ひとりにあった日常生活を送れるように職員間で情報を共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の希望・要望をもとに、カンファレンスにてケアを中心として意見やアイデアを出し合いながらケアプランの作成を行っております。	毎月職員全員が集まり、気付きや情報交換を行い、全利用者のモニタリングを行っている。介護計画は、新規は1カ月後と3カ月後に、平常時は6月ごと、変化時は随時見直しを行い、健康や身体状況に合わせた介護計画としている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子ケアについて、気づき等を個人ファイル等に記入して職員間での情報の共有を行い、ケアプランの見直しにて活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同系列の事業所と連携をとり、ご本人様やご家族様の状況やニーズに応じた支援を行わせて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の避難訓練には入居者様も参加をされております。また町内会のごみ拾いにも参加しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から2週に1回の訪問診療を行っております。また個々のかかりつけ医に定期的に受診し、協力医との連携も取れております。	協力医療機関の2週間に1回の訪問診療、毎週1回の看護師の訪問がある。協力医以外のかかりつけ医の受診は家族対応となっている。協力医・看護師とは24時間連携体制がとられ、安心できる体制が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身共に変化が見られた際には看護師に報告・相談し、適切な処置等を受けられるよう日常の健康管理をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご本人の生活状況をお知らせすべく基本情報をお渡しする等、安心して治療を受けられるよう配慮しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方については、出来るだけ早い段階でご本人様やご家族様、担当医師・看護師・管理者・ケアマネで話し合いをし、職員同士ケアの方針を共有する体制になっております。	契約時に、医療連携体制指針により説明し同意を得ている。重度化した時は、本人・家族、医師・看護師を交え話し合い、看取りを行っている。看取りにあたっては、職員の勉強会を開き、具体的なケアについて話し合い、家族の希望に沿うよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応等のマニュアルを作成し、応急手当については看護師または消防施設での訓練などを行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内で定期的に避難訓練を行っております。また運営推進会議において施設の避難時期や経路について報告しております。	年2回、昼・夜の火災想定避難訓練を、利用者の参加のもとに行っている。緊急時連絡網の整備、避難場所の周知、非常時備蓄を行っている。	火災想定避難訓練は行っているが、他の自然災害(地震)や停電時の対応の検討、災害から身を守る訓練の実施を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々を十分に把握し、誇りやプライバシーを損ねることのないようミーティング等で話し合いをし、ケアの統一を図っております。	目上の人に、人生の先輩としてぞんざいな言葉遣いや態度をとらないよう注意し、羞恥心の伴う言葉掛けには、誇りやプライバシーを損ねないよう気を配っている。書類は事務室の鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現がなかなか出来ない方には、時間を掛けて職員から声掛けをし、思いや希望を表せるように働きかけ、表情等にも気を配りながら対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れはありますが、個々のペースや体調等に考慮しながらその人らしい生活が送れるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容を利用したり、モーニングケア時や入浴後に職員が支援して整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けを入居者様の意思を尊重しながら手伝って頂いております。	隣接する法人の厨房で作っているが、利用者の好みを栄養士に伝え献立に反映させるとともに、誕生会などの行事には利用者の好むものを提供している。また、ケーキ、おはぎなど、利用者とともに手作りを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養のバランスを考えた献立のもと、一人ひとりの状況にあった調理方法、嗜好等で摂って頂いております。1日を通して必要な栄養素を摂取出来るように水分量・食事量を記録しながら支援させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、見守り・介助にて口腔ケアを行い残菌と歯茎の健康維持、義歯洗浄・うがいによりしっかりと取り組み、誤嚥性肺炎にならないようしながら訪問歯科と連携を図りながら口腔状態の確認を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを記録し、排泄サイン・時間間隔を考慮しながらそれに添った介助を行っています。また羞恥心に配慮をし不快感や失敗を減らすように支援しております。	排泄パターン、時間、表情などから適切な声掛けを行い、トイレでの排泄を促している。希望による同性介助、安全・安心のため二人介助も行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前の牛乳飲用での腸内刺激や体操などを行っています。食事は繊維質の多いものを取り入れたり、水分補給もこまめに摂っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の気分や体調に応じて無理強いせず、気持ちに寄り添った入浴をしています。記録にて入浴の間隔が空かないように配慮しております。	週2～3回、午前中の中の入浴となっているが、午後からの入浴や希望にも応じている。シャワー浴など体調に合わせた入浴法、希望による同性介助も行っている。入浴剤の使用、お話しや歌など入浴が楽しみとなるよう心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣、生活リズムを大切に、ご本人様にあった時間で休息して頂いております。夜間もご本人様の眠りやすい環境につくりに配慮させて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法・容量を全職員が把握し、見守り・介助にて服用して頂いております。医師の指示により薬の増減調整をし、薬剤師とも連携を図りながら、個々の症状の変化を確認しながら支援させて頂いております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の力を活かした役割が持てるように話しをしながら支援をしています。祝い事や季節のレクリエーションにより楽しみや気分転換になれるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に添いながら天気の良い日は散歩に出て気分転換を図っております。外出の際は事前にご家族様から了承を得て、ご家族様にも参加をして頂けるようにしております。	天気の良い日の散歩、外気浴など日常的に外の空気に触れる機会を設けている。季節的な行事では、花見、ラベンダー鑑賞、紅葉狩りなど自然に触れるほか、アイスクリームなど食べに行く楽しみも実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談し、管理者管理をさせて頂いておりますが、ご本人様の欲しい物や必要に応じての支援をさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の意思を尊重するように支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるように毎月その月にあった装飾をして楽しんで頂いております。また共有の空間には不快感を感じないよう配慮しております。	居間の大きな窓からは発寒川河川敷の自然が眺められ、春には満開の桜と梅の花を楽しむことができる。居間・食堂は、冷暖房機、床暖房、加湿器などが設けられ、温湿度、日差しが快適に管理されている。壁には季節ごとの飾り付け、手製のカレンダーが飾られ、心地よい共用空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士が座って頂けるように座席の配置に工夫をしております。レクリエーションでは歌を唄われたり聞いたり、テレビを観ながら個々の思い思いで過ごして頂けるように工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の写真や昔馴染みの家具などを配置したり、イベントやメッセージカードを飾り、居心地良く過ごせるように工夫させて頂いております。	居室には馴染みの家具や思い出の品などを持ち込み、家族の写真や好みの物で飾り、自分の部屋らしく落ち着いて暮らせるよう工夫している。室内は安全な配置と清潔さを保っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の手すりを使って頂き安全に歩行して頂いております。床には余計な物を置かず安全に生活して頂けるように工夫させて頂いております。		